

10月25日のウクライナ情報

安齋育郎

①【10/24 ロシア・ウクライナ紛争】戦況、国連事務総長の訪露そしてエマニュエル・ドット(2024年10月25日)

今回は、戦況とグテーレス国連事務総長のロシア訪問とエマニュエル・ドット氏のウクライナのお話です。ロシアのカザンで10月22日から24日まで開催されるBRICS首脳会議に合わせて、プーチン大統領とグテーレス事務総長の会談が行われる予定といわれています。

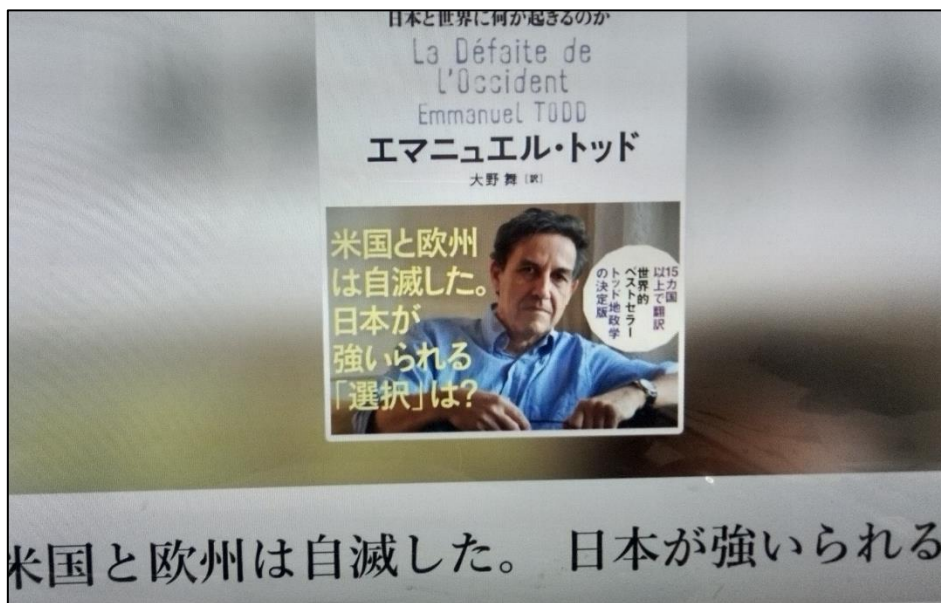
またフランス国立人口統計研究所の有名な歴史家、フランスを代表する知識人の一人、エマニュエル・ドット氏がウクライナ戦をどう見ているのかインタビューに答えていましたのでご紹介申し上げます。

10/22、ロシア軍は、チャシフ・ヤー近くの防御を突破し、翌10/23 チャシフ・ヤーを占領したといえます。

ウクライナ軍はやがてセリドヴォから撤退するのではないのでしょうか。その下のクラホヴェも、ロシア軍が北、南、東から包囲していて、孤立を避けるためにウクライナ軍は、撤退せざるを得ないといわれています。

エマニュエル・ドット氏は、「西側はロシアを孤立化させたかったが、世界のほとんどの国がこの問題に加わりたがらないことが判明した。この文脈で、BRICSは、欧米に対する一種のカウンターバランスのように見え始めた。この対立は、西側が望んでいたこととは正反対の結果を招いた。ある意味、オウンゴールだよ」と。

<https://youtu.be/cvSGVWVeFs>



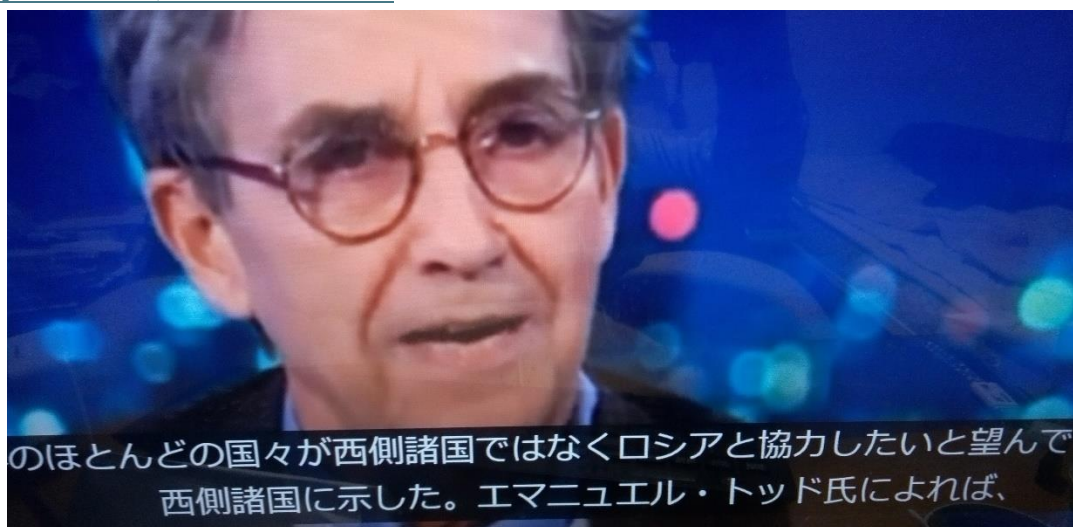
<https://www.youtube.com/watch?v=cvSGVWVeFs>

②米国はパニックに陥っている:ロシアが日本を追い越し、世界第4位の経済大国になった(2024年10月24日)

第16回BRICS首脳会議は2024年10月22日にカザンで始まった。この首脳会議は3日

間続くことが確実にわかっている。ロシアは前例のない西側諸国の制裁により孤立しているという西側諸国の多くの指導者の不条理な発言にもかかわらず、世界 30 カ国以上の首脳や代表がこの首脳会議のためにロシアに到着した。さらに、国連事務総長のアントニオ・グテーレスも BRICS 首脳会議に出席するためにカザンに到着した。

<https://youtu.be/YnIvLxE7HE>



<https://www.youtube.com/watch?v=YnIvLxE7HE>

③スコット・リッター、ロシアのプーチン政権を論ず(2024年10月22日)

※安齋注:日本語字幕付きです。ご覧になるといいでしょう。

<https://x.com/i/status/1848606085122490575>

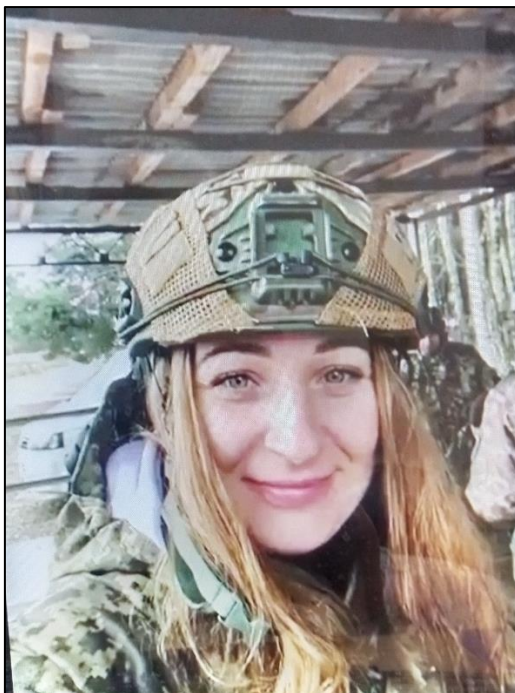


<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1848606085122490575?s=09>

④バスに乗った少年少女たちがビデオに映っている(2024年10月23日)

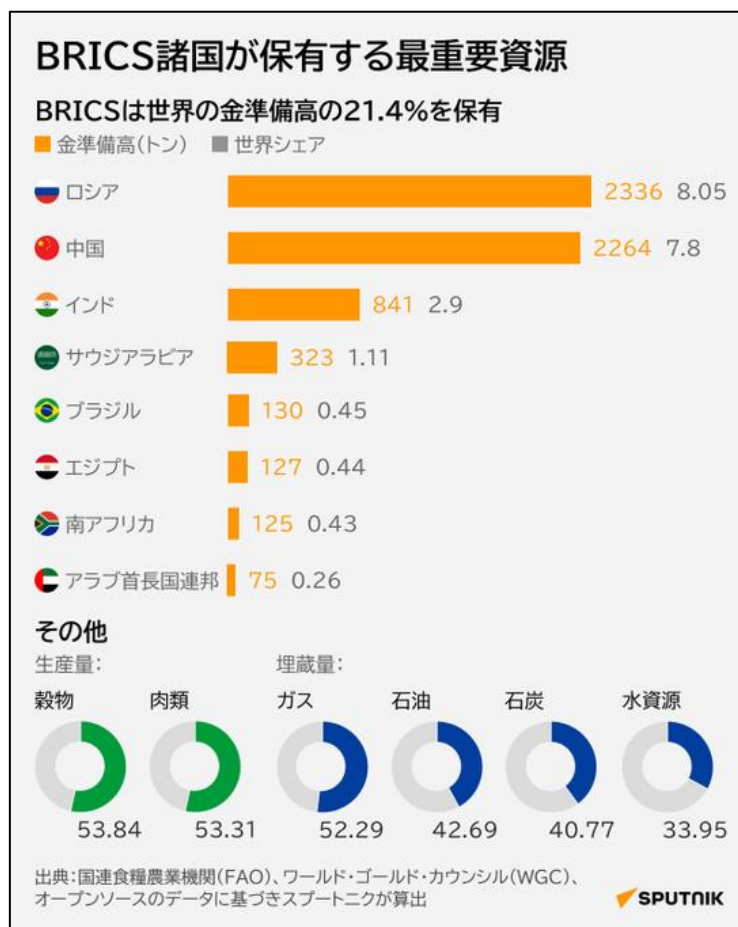
これがウクライナの新兵だなんて、衝撃を受ける。

<https://x.com/i/status/1842524546483564996>



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1848939196389441767?s=09>

⑤【図説:BRICS、世界の金準備高の2割を保有 露中が主導】



現在、世界の金準備高の 20%以上を BRICS 加盟国が保有し、ロシアと中国がその先導を担っている。スプートニクがワールド・ゴールド・カウンシル(WGC)などのデータに基づいて算出し明らかになった。

WGC によると、2024 年第 2 四半期時点の世界の金準備高は合計 2 万 9030 トンに達した。このうちの 6200 トンを、データを開示していないイランとエチオピアを除く BRICS 加盟国が占め、世界全体の 21.4%に相当する。

BRICS 加盟国の中ではロシアの金準備高が最も多く、2340 トンで全体の 8.1%を占める。次いで中国が 2260 トン(7.8%)と続く。

https://x.com/sputnik_jp/status/1849069076624322908?s=09

⑥ウクライナ軍に攻撃されたウクライナ住民の怒り(再送、2024年10月21日)

ウクライナ国民、気づいてるんですよ。

西側がやめさせないんです、悪魔です。

<https://x.com/i/status/1848637033767711230>



<https://x.com/merumeru283/status/1848637033767711230?s=09>

⑦オルバンが欧州の嘘を暴露(2024年10月22日)

ハンガリーは経済関係に関しては非常に透明性が高い。

しかしEUあなた方の国を見てみるとどうだ。あなた方の国の多くはアジア経由でロシアと貿易を行い制裁を回避している。

数字をお見せしましょう。

EU は毎月ロシアとウクライナの戦争前よりも 10 億ドル多く中央アジアの特定の国々に輸出しています。

それはなぜか？

制裁の回避だ。

ドイツ、フランス、スペインの企業はこうして制裁を回避している。

エネルギー問題についても触れましょう。戦争が始まって以来西側諸国はTRトルコやINインドの製油所から 85 億ドル相当のロシアの石油を買っている。

それなのに、あなたはハンガリーを批判するのですか？

それは偽善です。

2023年、あなた方西側諸国は1年前より44%多くロシアの石油を購入した。

あなた方の企業がロシア予算に支払った税金の総額は17億ドルに上った。それなのにロシアとの友好関係を非難するのか？

<https://x.com/i/status/1848679958815903746>



<https://x.com/Reloaded7701/status/1848679958815903746?s=09>

⑧米国防長官「ウクライナ紛争は交渉で終わる」と発言(2024年10月24日)

米国のオースティン国防長官は、ローマ教皇フランシスコとの会談後、ウクライナ紛争は交渉によって終わると述べた。

「我々は中東の緊張を緩和し、ウクライナで転換期に到達する方法を見つける必要がある。これまで述べてきたように、我々はウクライナを支援し続ける。交渉の席に着く時期はウクライナが決めることだ。だが、以前にも言ったように、この紛争はいつか交渉によって終結するだろう」

オースティン氏は、ウクライナと中東をテーマにした教皇との対話の詳細を教えてくださいという記者団の要望にこのように答えた。

オースティン氏によれば、教皇はこれらの地域の人道的問題を懸念しており、両者は停戦を望んでいるとの思いを共有しているという。

プーチン大統領は今年6月、ウクライナ紛争の平和的解決に向けた提案を打ち出した。プーチン大統領は「ウクライナがロシアの新しい地域の領土から軍隊を撤退させた後、ロシアは直ちに停戦し、交渉の用意があると宣言する」としたほか、ウクライナが中立、非同盟、非核であるというステータス、非武装化、非ナチ化も必要だと指摘した。また、対露制裁の解除にも言及した。

しかし、クルスク州に対するウクライナ軍の攻撃後、プーチン大統領はウクライナとの交渉の行方について、民間人に無差別攻撃を行う相手との交渉などありえないと断言した。



<https://sputniknews.jp/20241024/19242490.html>

◎NYT、BRICS サミット参加者のうち「他とは異なる」首脳を挙げる(2024年10月24日)

トルコのエルドアン大統領は、BRICS サミットの来賓の中で「他とは異なる」首脳だった。エルドアン大統領は NATO 加盟国から唯一参加したためだとニューヨーク・タイムズ紙は指摘した。

アナリストらは、エルドアン大統領の特異性について、長年にわたる東西間での駆け引きの結果だとしている。

ブルッキングス研究所の研究者、アスリ・アイディンタスバス氏は同紙へ寄稿した中で、エルドアン大統領がさまざまな国家と協力する構えがあることと、米国が衰退する中で新しい多極化世界で生き残ろうとするトルコの願望が、このような事態を招いたと分析している。

「これは複雑な関係であり、融合ではないことは確かだ。トルコとロシアは友好国であると同時にライバルでもあり、このバランスをどう取るかは、エルドアン大統領とプーチン大統領の個人的な関係を通じて行われている」と同氏は結論づけた。

BRICS サミットは 22 日、露カザンで開幕した。24 日にはパートナー国や国際機関を含めた拡大大会合も予定されている。



<https://sputniknews.jp/20241024/nytbrics-19243433.html>

⑩IMF、世界経済におけるパワーバランスが G7 から BRICS へ移行すると予測 (2024 年 10 月 24 日)



ブルームバーグは国際通貨基金(IMF)の報告書を引用し、世界経済のパワーバランスが G7 から BRICS 諸国に移行しつつあると報じている。

「購買力平価に基づいて今週発表された予測によると、IMF は今後 5 年間で中国、インド、ロシア、ブラジルといった強力な BRICS 経済の成長率が高まると予想している」

ブルームバーグによると、米国、ドイツ、日本といった G7 加盟国の世界経済への貢献度は、前回の予測から下方修正されている。中国の世界成長への寄与は、G7 の合計を 22%上回り、インドは 2029 年までに全体の 15%近くを占めるという。

IMF による新たな予測は、特に貧しく人口密度の高い国の比重が高くなる購買力平価に基づいて、世界経済の新興国市場への依存度が高まっていることを示していると記事の筆者らは説明している。

プーチン大統領は今月 18 日、BRICS サミットを前に開かれた BRICS ビジネスフォーラムで演説した中で、「BRICS 諸国の GDP 合計が G7 を上回っており、さらに成長を続けている」と指摘した。

<https://sputniknews.jp/20241024/imfg7brics-19242995.html>